

動物たちの声、
届いていますか？

第14回
勉強会

参加無料

要申込

杉本彩 × 太田匡彦 大和田新 アニマルトークセッション

公益財団法人動物環境・福祉協会Eva
理事長

杉本 彩氏

Aya Sugimoto

個人での保護活動から公益法人を立ち上げる。現在は、動物が置かれているさまざまな環境が良くなるために、また痛みや苦しみや不快な環境にいる動物を救うために、啓発活動や国及び地方自治体へ、政策提言等多岐に渡り活動している。

朝日新聞 記者

太田 匡彦氏

Masahiko Oota

AERA編集部記者、メディアラボ主査を経て16年から文化くらし報道部記者。著書に『犬を殺すのは誰か ベット流通の闇』（朝日新聞出版）などがある。18年第2回川島なお美動物愛護賞受賞。

パネルディスカッション

「動物達のいのちと笑顔を守るために福島ができること」

株式会社ハセプロ 代表取締役
長谷川 健氏
Takeshi Hasegawa

千葉小動物クリニック院長
獣医師
河又 淳氏
Jun Kawamata

福島県議会議員
伊藤 達也氏
Tatsuya Ito

SORAアニマルシェルター
代表理事
二階堂 利枝
Rie Nikaido

総司会

フリーアナウンサー
大和田 新氏
Arata Owada

2015年3月、38年勤めたラジオ福島を定年退職し、現在はフリーアナウンサーとして、ラジオ、講演会などで活躍中。著書「大和田ノート」生活信条は「明日できる事は今日しない」

2019年

日時 2月24日 日

開場 13:30 開演 14:00 終演 16:30

定員

150名 先着順・要申込

会場

ラコパふくしま

5F 大会議室（福島市仲町4-8）

駐車場はございませんので近隣の有料駐車場をご利用ください。または公共交通機関をご利用ください。



主催 ● 特定非営利活動法人SORAアニマルシェルター

【参加申込み方法】●パソコン・スマホから

下記 URL または QR コードの「申込みフォーム」に必要事項をご記載のうえ送信してください。

<http://bit.ly/2AKF2P4>

●ファックスで

チラシ裏面に必要事項を記載してファックス送信してください。





震災からの原発事故直後、多くの動物たちは被災地に取り残されてしまいました。あの時もって、こうだったら、あの時もって、ああしていたら、たくさんの人と同様に動物たちも苦しい思いをしなくて済んだはず。たくさん悲しい経験から学び、その経験を生かすことができ、震災前よりも人も動物も幸せになれたら、きっと空の上で見ていた動物たちも笑顔で福島を応援してくれる。SORAアニマルシェルターでは、人と動物が平穏に共生できるまちづくりを図るために、様々なテーマを基に多方面で活躍されているゲストの方々をお招きし、アニマルトークセッションを開催いたします。

講師

杉本 彩氏 (すぎもと あや)

幼少の頃から無類の動物好き。芸能界入りした20代、一匹の子猫との出会いをきっかけに個人で保護活動を始め。その後、全国の自治体でのシンポジウムや小学校、民間企業からの依頼で講演活動を行い、全国各地で地域猫活動の推進、アニマルポリスの設立について啓発活動を行う。2014年2月に「一般財団法人動物環境・福祉協会Eva」を設立。翌年2015年2月には、公益法人として認定される。人と動物が幸せに共生できる社会の実現をめざし、日本の動物がおかれている現状についての講演活動、そして動物に関する法律および制度等に対する国及び地方自治体への働きかけなど精力的に活動している。大阪府「おおさかワンちゃん特別大使」、京都動物愛護センター「名誉センター長」に就任し、各種動物愛護事業への認知度向上に貢献している。



講師

太田 匡彦氏 (おた まさひこ)

1976年生まれ。98年、東京大学文学部卒。読売新聞東京本社を経て2001年、朝日新聞社入社。経済部記者として流通業界などの取材を担当。AERA編集部記者、メディアラボ主査を経て16年から文化くらし報道部記者。東日本大震災後には、SORAアニマルシェルターや福島県内にも取材に訪れ、被災動物とその保護団体の現状を朝日新聞朝刊、タブロイド版「sippo」に記事を執筆。著書に『犬を殺すのは誰か ペット流通の闇』（朝日新聞出版）などがある。'18年第2回川島なお美動物愛護賞受賞。



パネリスト

長谷川 健氏 (はせがわ たけし)

保険・相続・終活のコンサルタントとして5,000件以上の相談実績を持つ。終活支援の中で、ペットの「飼いまじき後問題」の事例を経験し、ペット信託の普及にも力を入れている。自身も子供の頃から犬を飼育し、現在はラブラドル2頭と保護したネコ2匹と生活をする無類の動物好き。福島テレビ「サタふく」にショーカット先生としてレギュラー出演中。他、FMポコに2本のレギュラー番組、福島民友新聞会員誌に連載コラムをもつ。



パネリスト

河又 淳氏 (かわまた じゅん)

公益社団法人 福島獣医師会副会長。30年以上のキャリアを持つ福島の獣医師。東日本大震災直後、避難所にいるペットの診察や、避難所に入れず車中生活を続けているペット同伴者のために専用避難所を設けるよう交渉するなど、ペットの健康やそれを取り巻く環境のために尽力してきた。



パネリスト

伊藤 達也氏 (いとう たつや)

福島県議会議員。県議会において、自らを「アニマル伊藤」と称し、「犬猫殺処分ゼロ」達成のために福島県動物愛護センター（ハビまるふくしま）を活用した施策の充実、動物愛護施策に特化した寄付金制度の創設(動物愛護基金条例)に携わるなど動物愛護にも積極的に取り組んでいる。趣味は読書(歴史小説)と愛犬(フレンチブルドッグ、トイプードル)の散歩。モットーは「とことん現場主義」



総合司会

大和田 新氏 (おおわだ あらた)

神奈川県横須賀市出身。昭和52年、中央大学法学部政治学科卒。同年ラジオ福島入社。学生時代に朗読ボランティアに参加したのをきっかけに視力障害者と交流を持つようになり、一時は福祉関係の職業に就くことも考えたが、「一生福祉と関わっていききたいのなら、福祉を外から見ると仕事を避けなさい」という一言がきっかけで、アナウンサーを志す。2015年3月、38年勤めたラジオ福島を定年退職したが、退職後も土曜日午前の長寿番組「大和田新のラヂオ長屋」を担当している。現在はフリーアナウンサーとして、ラジオ、講演会などで活躍中。生活信条は「明日できる事は今日しない」著書に『大和田ノート 伝えることの大切さ 伝えることのすばらしさ』がある。



アニマルトークセッション 参加申込み

(TEL & FAX. 024-529-6267)

お一人様につき1枚送信をお願いします。

先着150名様
締切/2月22日(金)

受付させていただいた後、FAXかメールで受付受理のご連絡をさせていただきます。
お申込み後、3日以上受付受理のご連絡がない場合は、再度お申込みいただくか、ご連絡ください。
※開会中の途中入退場はできません。 ※会場内での飲食はお控えください。
※録画・録音はご遠慮ください。

申込日： 月 日

ふりがな 氏名	性別	男・女	年齢	歳
ご住所	FAX			
電話番号	メールアドレス			

※連絡がつきやすい連絡先をお願いします。

その他

※パソコンからのメールを拒否されている方は、fukushimasora@hotmail.co.jpのメールを受信できるよう、設定をお願いします。

ご記入いただきました個人情報、は本事業でのみ使用します。

この勉強会のお問い合わせ

特定非営利活動法人SORAアニマルシェルター

〒960-2261 福島市町庭坂字富山147-1 TEL&FAX 024-529-6267 http://sora.ne.jp

この勉強会は、LUSH JAPANの「チャリティバンク」の助成を受けています。